

まちづくりの進捗を見える化し、アピールを



動画視聴

自民・未来クラブ
森 竜子 議員

災害に強いまちづくり と治水対策事業の推進

問 排水対策基本計画を策定中だが、進捗状況と課題に対する取組について聞きたい。

答 本市の地形や河川、水路、公共下水道、ため池などに加え、市民から得た浸水状況や現地踏査等の情報を用い、コンピューター上に市内の状況を再現したモデルの構築を行っている。

具体的には、事業主体を明確にし、実施時期を短期・中期・長期に区分けして計画的に対策を推進していく。

問 手鎌野間川はＪＲや西鉄、国道などが通っていて、事業としてのハードルは高いが、河川対策は急がなければならない。新年度の取組は。

答 未整備区間には鉄道橋や国道橋などが存在するため、管理者と協議し、工事実施に向けた調査・測量等を行う。

問 大牟田川の整備計画の進捗状況と堤防機能の強化は。

答 県は新たな調節池の設置を含めた現地調査中で、令和4年度からは用地測量と川幅が狭い箇所の拡幅を行う予定。

また、老朽化が進む堤防は、4年度からの工事着手に向けた準備が進められている。

再発言 堤防機能を強化するため、老朽化対策だけで

なく、かさ上げについても県に強く要望してほしい。

問 流域治水の考えに基づく諏訪川の浸水対策の進捗は。

答 下流域である諏訪川への影響を少なくするため、熊本・福岡両県で協議を重ね、上流河川の整備内容見直しや諏訪川の河道掘削を行うと聞いている。



国土交通省HPより引用

再発言 調節池の整備や田んぼダムの検討など効果的な対策を図られたい。

円滑なワクチン接種 と地域経済への対策

問 3回目の接種や5歳から11歳を対象とした小児接種の開始に当たり、情報提供や相談体制はどうなるのか。

答 新しい情報の継続的な提供に努め、心配や不明な点は医療機関に相談してもらうなど、市民が安心して安全に接

種できるよう取り組む。

問 令和4年度は地域経済の活性化にどう取り組むのか。

答 全国発送が可能な商品の開発やプレミアム率20%の商品券発行など消費喚起を支援し、活性化に取り組む。

市庁舎整備の 今後の方向性

問 今後の方向性として、本館は庁舎ではなく民間活用で進めていくのか。また、その際のスケジュールは。

答 庁舎整備の実現可能性調査等の結果を踏まえ、民間活用を基本に検討し、令和6年度までに基本構想を策定、令和10年度の建設開始を目指す。

学童保育・クラブの 待機ゼロと時間延長

問 議会としては待機児童の解消と預かり時間の延長を平成27年度から求めている中、近隣の全ての市町では預かり時間延長に取り組んでいる。

市長は3つのまちづくりの1つに子育て世代に魅力的なまちづくりを掲げているが、この2つの問題の解決をいつまでにどうやるのか。

答 学童保育は共働きやひとり親家庭にとって大変重要な機能を果たしているため、年度当初の待機児童ゼロは私の任期中に実現させたい。

預かり時間の延長についても近隣市町と比較し、本市が実現できていないことは大きな課題であり、令和4年度中には実現への道筋をつけたい。